在住外国人妊産褥婦に対する
ケアを調整するための確認リスト

利用ガイド

目次

１．はじめに……3

２．確認リストの使い方……4

３．妊娠期確認リストの解説……6

４．分娩期確認リストの解説……10

５．産褥期確認リストの解説……11

６．編集時の留意事項……13

７．ツール紹介……15

１．はじめに

在住外国人女性が日本で出産するにあたり、社会的･経済的な問題や文化の違いによって戸惑いや困難を抱えているケースが報告されています。こうしたトラブルを予防するには、早期から問題の把握をし、対応することが重要です。そのため、在住外国人女性と医療者の両者が妊娠期からケアの調整に関われるツールとして、確認リストを作りました。

この確認リストでは、在住外国人女性が自分の文化や習慣について、また医療現場から提案される代替案について答えられる内容になっています。また、妊娠期、分娩期、産褥期の各期において、必要となる知識を確認することもできます。この確認リストで得られた情報をもとに、在住外国人女性と医療者とがコミュニケーションをとり、互いを理解した上でケアの内容を調整することで、トラブルを減らすことができるのではないかと考えています。

また、この確認リストは、編集可能な形で公表しています。地域ごと、施設ごとに異なる状況に合わせ、カスタマイズが可能です。利用していく中で、現場の状況に合った内容としていただければ幸いです。

2019 年　プジョー恵美里

２．確認リストの使い方

この確認リストには、在住外国人妊婦に対する情報収集にご利用ください。ただし、この確認リストだけでは回答者のニーズの一端を知るにとどまり、詳しく知ることはできないと考えています。そのため、得られた情報を対象となる女性とのコミュニケーションのきっかけとし、ケアの調整に役立ててください。

使い方のアイディアを、いくつかご提案いたします。

- 助産師外来、保健指導の場で

  外来で妊婦とのコミュニケーションの時間が十分に取ることのできる状況であれば、確認リストへの回答を一緒に行うことをお勧めします。これには、二つのメリットがあります。一つは、回答方法や質問内容の意味が分からない場合に、サポートすることができるということ。二つ目は、回答したことに対してその場で追加の質問をするなどして、より詳しい情報収集、そしてケアの調整がしやすいということです。

- 外来の待合室で

  妊婦とのコミュニケーションの時間が十分に取ることができない場合、健診の順番を待っている間、問診票のように確認リストを回答してもらいます。特に気になる回答をピックアップし、短時間で必要な項目のみ、追加の情報収集やケアの調整を行うことができます。

- 知識の確認後は、知識提供を

  各期の確認リストの最後には、日本で周産期を過ごすのに必要となる知識の確認をする項目があります。ここでチェックのついたものについては、

必ず説明を行い、不安の残らないようにサポートすることが大事です。外来で十分に時間が取れない場合には、紙媒体、映像媒体の外国人向け知識提供ツールが豊富にありますので、それを活用することも有用です。

- 多言語問診票の活用もお勧めします

この確認リストには産科で必要となる医療情報の情報収集をする問診票の役割はありません。しかし、多言語化された産科問診票はすでに多数公開されています。多言語問診票と組み合わせてご利用いただくことで、より網羅的な情報収集が可能になると考えられます。

外国人向け知識提供ツールと、多言語問診票の情報は「7．ツール紹介」でご案内しています。ぜひお役立てください。

３．妊娠期確認リストの解説

妊娠初期に回答してもらうことで、妊娠期に必要なケアの調整が可能になります。特に留意するべき質問項目について、解説させていただきます。

１．あなたのことについて

①（１）呼び方があれば書いてください

外国人の方の中には、本名とは別に、日本で呼びやすい通称名を持っている場合もあります。また、長い名前や日本人が言いにくい名前の場合、「このように呼んでください」と希望される方もいます。

☆通訳が必要な人は答えてください

この質問項目は、施設によっては医療通訳を導入しておらず、外国人女性の家族や知り合いに通訳を依頼する必要のある状況があるということから設けています。外国人女性に通訳の同伴を依頼する際には、家族や知り合いによる通訳をめぐってトラブルが起きやすいことも理解しておく必要があります。例えば、家族や友人であっても中絶の経験や性感染症など知られたくないプライベートなこともあるため、正直に話すことができない場合があります。また、医療知識のない人が通訳すると、理解できないどころか、誤解を招くこともあります[1)~3)]。医療者が言葉の通じる家族や友人への説明を優先してしまい、妊婦への説明が後回しになってしまうこともあります。また、妊婦からの母国語での要求と医療従事者からの日本語での指示の間で通訳となった家族や友人が板挟みになることもあると報告されています[3)]。そうした問題に対し、医療通訳士や、遠隔会議システムを用いた遠隔医療通訳の活用が注目されています。遠隔医療通訳の場合には、受入の度に通訳者を手配する必要がない、時間を気にせず医療者が必要とする時に医療通訳を使うことができるといったメリットがあります[4)]。

⑧医療保険に入っていますか

外国籍であっても、日本での滞在が 3 カ月以上になる場合は、健康保険に加入することになっています。しかし、実際には、保険に加入できていないことも多く、加入していても保険料の支払いが未納である、保険証の貸し借りが行われているケースもあると報告されています[5)]。

⑨必要な時、入院できない理由はありますか

⑩妊娠や出産に不安はありますか

在住外国人は来日理由や雇用形態によっては経済困難を抱えていることがあり、保険料や医療費の支払い困難に影響します。アジア圏出身留学生とその妻を対象としたインタビュー調査では、検査や出産費用、育児用品の購入に関して大きな不安があるという声が上がったそうです[6)]。経済困難から、妊婦健診に行かれなくなる、必要な時に入院を断ったり途中で退院したりする、といったトラブルにつながることもあります。経済的な不安については、今後どのくらいお金がかかるのか説明し、公的な援助の受け方などの情報提供をしていきましょう。

⑪あなたをサポートしてくれる人はいますか

日本語能力を聞く質問項目を設けたのは、インフォームドコンセント時に立ち会うことを想定し、その際に通訳が必要であるかどうかを把握するためです。

サポートしてくれる人が、親や兄弟の場合、さらに必要な情報として、国内にいるのか、国外であればどのくらいの期間、訪日しているのかといった情報も追加で聞く必要があります。妊婦が訪日した家族のビザや滞在先の世話をする必要があることから、十分な休息をとれないという問題もあるからです[3)]。

2．あなたの希望について

①医者の性別に希望はありますか

宗教上の理由から、女性の医師でなくてはならないと希望する場合がありま

す。ただし、男性医師しかいない空間では男性医師による診察は可能、夫が同伴していれば男性医師の問診を受けられる、などと、考え方や条件によって男性医師が対応可能な場合もあります。配慮が必要な対象者に対して、問診時・内診時・分娩時など場面別にどう考えているか、どういう信念を持っているのか、丁寧に聞く必要があります。

③妊娠しているときに、断食をしますか

イスラム教では、妊娠中の断食（ラマダン）は免除、または妊娠期間の終了後に同期間おこなうこととなっています。しかし、「禁止」とされているわけではないため、考え方によっては妊娠中に断食をする人もいます。

④食べないと決めているものはありますか

宗教上の理由だけでなく、ベジタリアンなどの信念から動物性の食事を摂らないと決めている人もいます。イスラム教による制限であればハラル食が必須の場合があるので、制限をしている理由をさらに聞く必要があります。肉の形をしていなくても、だしなどのエキスでも禁止の場合や、薬剤に成分として含まれているのも禁止の場合があります。宗教による制限であれば人工乳においても適応されます。人工乳については、産褥期に必要な情報となるが、病院側で用意をするのか、栄養科との検討など、調整に時間がかかるため妊娠後期の情報収集では間に合わない可能性があるため、妊娠初期のうちに質問項目として入れています。

⑥あなたの宗教について病院に言いたいことはありますか

イスラム教のように 1 日の決まった時間に何度か祈祷をする場合、妊婦健診の時間と重なってしまう可能性があります。そうした場合、病院内での祈祷をどのように対応するのか（場所や時間など）を話し合っておく必要があります。祈祷の前に水で顔や手を清めたい、という希望が出ることもあります。

また、輸血について、エホバの証人を信仰する人は宗教観によって拒否するこ

とがあります。無輸血治療については、施設内のガイドラインがあれば、その説明を行ってください。

⑦無痛分娩がいいですか

国によっては、無痛分娩が主流になっています。無痛分娩が当たり前と考えている場合もあるため、施設によっては対応できないことを伝えておくことが必要です。無痛分娩の希望が強い場合、無痛分娩を行っている医療施設を紹介するほうがよいでしょう。

他に、医学的適応がなくても帝王切開を希望する人もいます。ブラジル人の場合は自国の帝王切開率が 48%と高いこと[8)]や、帝王切開が経腟分娩よりもステータスが高いという価値観の国もあること[9)]などが理由になりますが、日本では帝王切開を選択できないことを説明する必要があります。

３．妊婦健診について

体重測定

国によっては、体重増加について考え方の違うところもあります。日本の妊娠中の体重増加制限に対し「厳しい」と感じ医療者に対して不満を感じるケースもあります[8)]。

妊婦健診のスケジュール　超音波検査

日本では、妊婦健診の頻度も、超音波検査を行う頻度も、他国に比べて比較的多いほうです。妊婦健診の回数と共に、超音波検査を含めた検査のスケジュールを説明することが必要です。

内診

内診時の配慮として、日本ではカーテンによって医療者と女性を遮ることが多いですが、カーテンがあることで不安を感じる人もいます。文化的背景もありますが、個人差がありますので利用するかどうか確認するとよいでしょう。

４．分娩期確認リストの解説

妊娠後期に回答してもらうことで、分娩期に必要なケアの調整が可能になります。

１．病院に来るときについて

自分では連絡できないという場合、緊急連絡先が日本語のできない相手である場合、どのように対処するべきか、医療通訳や遠隔医療通訳システムの利用も視野に話し合っておく必要があります。

２．あなたの希望について

②出産の時お祈りはしますか

③出産のときやりたいことがあれば書いてください

すでにバースプランについて聞いている場合は、省略可能な内容です。出産のときのお祈りについては、本人が当たり前のことと考えているため希望として挙がりづらいかもしれません。現実的に可能かどうか、その希望を具体的に聞いておくことも大切になります。

３．出産について

出産の流れ　　病院に連絡する症状

分娩開始や正常からの逸脱に自分で判断し連絡できるか理解度を確認する必要があります。日本語を理解していないために、母親学級に参加できていない場合もあり、特に正常からの逸脱の知識の確認とその補完は重要となります。

家族の立ち合い

出産の立ち合いに親戚一同や友人が大勢で押しかけてしまうというケースもあります。立ち合いについてルールがある場合には確認する必要があります。

５．産褥期確認リストの解説

妊娠後期に回答してもらうことで、産褥期に必要なケアの調整が可能になります。

１．あなたのことについて

①入院のあいだ、お祈りをしますか

お祈りをする際、大部屋の中での祈祷は時間帯によっては難しい場合もあるため、場所の検討が必要用です。イスラム教では、祈る方角が重要であるため、方角を聞かれる場合もあります。妊娠期の時と同様、水で体を清めたい場合には、どのように対処するかを話し合うことも必要です。

②入院のあいだ、シャワーで体を洗いますか

③出産の後、身体を温かくする習慣がありますか

中国やベトナムなどのアジア圏の国では、産後に体を温めて過ごすことが重要である、という習慣の考え方を持っている人が多いです[10)～14)]。その一つとして、シャワーを浴びて体を冷やさないほうがよいという考えもあり、確認リストでは希望を聞くだけでなく、身体を清潔に保つためのセルフケアを提案しています。体を温かくしたい、という希望を持っている人にとって、冷たいお茶がでることや、乳房緊満のクーリングは非常に苦痛となり、その後の健康に障ると考えているため、留意が必要です。また、同じアジア圏出身の方に多いのが、産後はあまり歩かないようにしたい、動かないようにしたい、という希望です。こうしたニーズを、どのように満たせるかを一緒に考えられるよう、その考え方や価値観について話し合ってみてください。

２．赤ちゃんのことについて

②男の子の場合、割礼はしますか

男児の割礼とは、宗教的・習慣的な理由で行う包茎手術のことです。ユダヤ教・キリスト教・イスラム教のほか、アメリカでは宗教に関係なく習慣的に行っている人がいます。医療機関によっては、こうした理由による割礼を行うところもありますが、3 カ月までの乳児のみや成人のみを対象にしているなど、月齢・年齢制限場合もあるため、事前に調べておく必要があります。

３．出産後の生活について

赤ちゃんの手続き

外国人同士の子どもの場合、出生届の提出だけでなく、入国管理局での手続きや大使館での手続きも必要になります。必要な書類の取得方法、申請方法が把握できているか確認する必要があります。

入院中の面会

出産時と同様、大勢で来てしまうケースもあるため、面会時間やルールがあれば確認する必要があります

赤ちゃんの予防接種

出産後しばらくして母国に里帰りするケースでは、予防接種スケジュールが異なるために複雑になります。出産後に小児科医師に確認しながら進めていくように伝えることも必要です

６．編集時の留意事項

この確認リストは、地域や施設の実情に合わせてカスタマイズしてご利用ください。その際、以下のポイントをご留意いただきますようお願いいたします。

● 項目を削除する場合

すでに使っている問診票との内容の重複がある場合、その質問項目を削除していただいて構いません。また、医療通訳士などが通訳できる場合、外国人女性に対して通訳を連れてこられるかを聞く質問項目は不要になります。

一方で、「ニーズへの対応が困難である」という理由で重要な質問項目を削除してしまうと「対応できない」ということを伝える機会が失われてしまいます。そのため、以下の質問項目、確認項目については、削除しないようにお願いいたします。

【妊娠期】

１．あなたのことについて

④日本語は話せますか　⑤日本語は読めますか　⑥日本語は書けますか

⑧医療保険に入っていますか　　⑩妊娠や出産に不安はありますか

２．あなたの希望について

⑥あなたの宗教について病院に言いたいことはありますか

⑦無痛分娩がいいですか

３．妊婦健診について　　妊婦健診を受けるスケジュール

【分娩期】

１．病院に来るときについて　　①病院に電話できる人はいますか

２．あなたの希望について　　①出産の時、通訳のできる人が必要ですか

３．出産について　　出産の流れ　家族の立ち合い　病院に連絡する症状

【産褥期】

１．あなたのことについて

①入院の間、お祈りをしますか　②入院の間、シャワーで体を洗いますか

③出産の後、身体を温かくする習慣がありますか

３．出産の後の生活について

入院中のスケジュール　　入院中の面会　　赤ちゃんの手続き

- 項目を追加する場合

　この確認リストに、さらに質問項目や代替案の選択肢、知識の確認項目などを追加したい場合、あるい現在使用している問診票と統合したい場合には、ぜひ「やさしい日本語」をご使用いただければ、幸いです。やさしい日本語表記のルールは、こちらの資料をご参照ください。

弘前大学人文社会科学部 社会言語学研究室

生活情報誌作成のための「やさしい日本語」 ガイドライン

～街の外国人に生活情報を伝えるために・カテゴリーⅡ～

ウェブサイト：http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/CATtwo-gaidorain.htm

７．ツール紹介

在住外国人女性のケアに役立つツールをご紹介します。

- 医療全般　多言語化資料

【多言語問診票】

作成：NPO 法人国際交流ハーティ港南台、公益財団法人かながわ国際交流財団

ウェブサイト：　http://www.kifjp.org/medical/ AMDA

18 言語に訳されています。11 の診療科についてそれぞれ問診票があります。

【外国語医科歯科診療マニュアル】

作成：神奈川県

ウェブサイト：http://www.pref.kanagawa.jp/docs/k2w/cnt/f4248/p11909.html

10 言語に訳されています。問診票だけでなく、産前・産褥入院・授乳指導・退院指導について産科の現場で必要となる会話表現を網羅しています。

【医療機関等外国人対応マニュアル】

作成：愛知県多文化共生推進室

ウェブサイト：http://www.aichi-iryou-tsuyaku-system.com/manual/

6 言語に訳されています。妊産婦を対象とした説明資料として、産科の問診票や産科医療補償制度のご案内などの文書が多言語に訳されてまとめられています。総論では、医療現場での外国人への対応の留意点を宗教や国ごとに解説しています。通訳や多言語医療問診票などのツールに関する情報もまとめられています。

● 在住外国人向け　周産期の知識提供ツール

【すこやかな妊娠と出産のために】

作成：厚生労働省

ウェブサイト：　https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/boshi-hoken10/

13 言語に訳されています。妊婦健診の受診の必要性や、妊娠中に気を付けたい症状が説明された、リーフレットです。

【ママとあかちゃんのサポートシリーズ】

作成：多文化医療サービス研究会（RASC）

ウェブサイト：　www.rasc.jp/momandbaby/

9 言語に訳されている冊子です。日本で出産･育児をする外国人女性とその家族を対象としています。産婦人科で聞かれること、周産期に関する知識の他、日本での周産期に関する習慣などが解説されています。

【ママとあかちゃんのサポートシリーズ　ビデオ】

作成：RASC　B.B.

ウェブサイト：　https://www.rasc-bb.org/

上述の「ママとあかちゃんのサポートシリーズ」をもとに、日本の出産をイメージするためのビデオをやさしい日本語で作成し、公開しています。妊娠から出産までの内容を知ることができます。一つの項目につき 1～7 分程度の短い動画にまとまっているため、知りたい内容や使える時間に合わせて視聴できます。

【外国人住民のための子育て支援サイト】

作成：公益財団法人かながわ国際交流財団

ウェブサイト：http://www.kifjp.org/child/chart

7 言語に訳されているウェブサイトです。妊娠・出産時から小学校入学までの流れを日本人支援者と外国人保護者が一緒に確認できるチャートとそれを解説する動画が掲載されています。また、母子手帳について、母子訪問について、解説する動画があります。

【多言語母子手帳】

作成：母子保健事業団

ウェブサイト：https://www.mcfh.co.jp/material/detail/142

9 言語に訳した母子手帳を 1 冊 760 円（税抜）で販売しています。厚生労働省令に基づく母子健康手帳の記録ページを、外国語と日本語の 2 か国語で併記してあります。

- 外国人の習慣・風習をもっと知るために

【異文化看護データベース】

作成：日本看護科学学会

ウェブサイト：http://plaza.umin.ac.jp/jans/iinkai/intl/index02.html

【日系ブラジル人母子 サポートマニュアル】

作成：公益財団法人滋賀県国際交流協会

ウェブサイト：http://www.clair.or.jp/j/multiculture/docs/shiga_boshihoken.pdf

引用・参考文献

1)笹田 伸子. 【これなら伝わる!説得できる!リスク因子を抱えた妊婦に必要な保健指導】 日本語の理解できない外国人妊婦への保健指導. ペリネイタルケア 2008 .01;27(1):54-56.

2)李 剣, 木村 留美子, 津田 朗子. 在日中国人母親の子育てとその家族からの支援の特徴に関する研究. 金沢大つるま保健会誌 2015 .07;39(1):109-117.

3)齋藤 真希. 在日外国人妊婦が直面する困難と必要な支援. 臨床助産ケア 2018 .03;10(2):102-106.

4)経済産業省ヘルスケア産業課. 医療通訳活用パターン及び事例. 2014.

5)堀 成美. 外国人患者受け入れの現場から 多文化社会 NIPPON の医療 その健康保険証は適切か. 病院 2018 .01;77(1):82-83.

6) 蛎崎 奈津子, 熊谷 恭子, 奥寺 忍, & 伊藤 洋子. アジア圏出身留学生とその妻が日本での妊娠期間中に直面した課題とその対応. 母性衛生 = Maternal health 2010 07/01;51(2):490-497.

7)植村 直子, マルティネス 真喜子, 畑下 博世. 在日ブラジル人妊産婦の日常生活と保健医療ニーズ 妊婦健診・家庭訪問でのフィールドワークより. 日公衛誌 2012 .10;59(10):762-770.

8)高橋 里亥, 古川 洋子, 正木 紀代子, 芦田 美樹子, 大林 露子. 滋賀県における在日ブラジル人女性の妊娠・出産・産後のケアに対する調査. 人間看研 2007 .03(5):57-71.

9)栗下 昌弘. 【いまどきの出産事情】 外国人の出産・日本人の外国出産. チャイルド ヘルス 2007 .06;10(6):403-407.

10)李 剣, 木村 留美子, 津田 朗子. 石川県に在住する中国人母親の子育て支援に関する検討. 金沢大つるま保健会誌 2016 .01;39(2):171-179.

11)鵜川 晃, 野田 文隆. 【理論生成における臨床家のゴール、研究者のゴールとは】 (第 3 部) 理象理解と理論生成 越境する文化と身体記憶 ベトナム系住民女性の出産のナラティブから. こころと文化 2016 .09;15(2):169-177.

12)申 于定, 松岡 恵, 三隅 順子. 在日韓国人女性が日本で経験する産褥期の困難さ 韓国の産後ケア概念'産後調理(sanhujori)'に着目して. 助産誌 2007 .10;61(10):872-877.

13)糸井 裕子. 在日カンボディア人の伝統的な健康実践と援助関係へのニーズ. 日看医療会誌 2007 .06;9(1):8-17.